

お客様へ 安全にご使用いただくための重要な内容です。必ずお守りください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

点灯異常の際は電源を切る
異常を感じたときは速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。そのまま使用すると火災・落下によるけがの原因になります。

器具の直下や近くに暖房器具などの熱源を置かない
器具が過熱し、火災・感電・落下の原因になります。

分解・改造をしない
器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災などの原因になります。

注意 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

定期的な点検する
3年に1回は専門家（工事店・電気店）による点検を実施してください。設置して8～10年*経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。点検せずに長時間使用を続けると、まれに発煙・発火・感電などの原因になります。

*標準使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合、（JIS C8105-1解説による）

LED照明器具使用上の一般注意

- LEDユニットは交換できません。
- LED照明器具は、同一型番でも発光色、明るさが異なることがあります。
- 表示が発光するスイッチに使用した場合、スイッチの発光部が暗くなった点灯しなかったりすることがあります。
- 照射距離が近いと、光むらが発生することがあります。
- 照明器具の近くでリモコン（コントローラ）を操作した場合、誤作動することがあります。器具とコントローラ受信部を離して使用してください。
- ラジオ、ワイヤレス機器は、なるべく本製品から離して使用してください。雑音が入ったり、誤作動したりすることがあります。
- ビデオカメラや防犯カメラを通して照射された面を見た時の画像に、ちらつきや縞模様が見られる場合があります。

お手入れ方法

明るく安全に使用するため、以下の方法で定期的に清掃してください。

- お手入れの際は必ず電源を切り、器具が冷えたことを確認してから行ってください。
- 照明器具のすき間に金属や可燃物を差し込んでお手入れをしないでください。内部に残った場合に、発火や火災の原因になります。
- お手入れには、水または薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞って拭いてください。そのあと洗剤が残らないように水拭きしてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでも拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因になります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証期間

保証期間は、お買い上げ日より3年間です。24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。
※物件または使用環境により保証内容が異なる場合があります。詳しくは担当営業にお問い合わせください。
保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。保証期間内でも有料になることがあります。詳しくは保証規定をご覧ください。

保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店、またはLED照明サポートコールにお問い合わせください。

可燃物を近づけない
器具を布や紙の可燃物で覆ったり、かぶせたり、燃えやすいものに近づけたりしないでください。また木製や樹脂製の家具などを近づけないようにしてください。近づけすぎると被照射物の変形・変色・火災の原因になります。

破損器具を使用しない
器具が破損した状態で使用しないでください。すぐに電源を切り、工事店・電気店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、感電・火災の原因になります。

光を直視しない
点灯時、ランプを直視しないでください。目を痛める場合があります。

使用中・使用直後に触れない
点灯中や消灯直後は、器具が高温のため触れないでください。やけどの原因になります。



高気密 Sb形 LEDダウンライト 埋込穴径φ100

LSB100-0627DCAW-V3 (G32) LSB100-1027DCAW-V3 (G34)
LSB100-0635DCAW-V3 (G59) LSB100-1050DCAW-V3 (G35)
LSB100-0650DCAW-V3 (G33)

このたびはアイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

安全上の注意

ここに示した注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

図記号の意味

注意を促す記号 **してはいけない [禁止] 内容** **しなければならない [指示] 内容**

施工担当者様へ

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源は定格で使用する
電圧AC100V(電圧変動±6%以内)、周波数50/60Hzです。正しく使用しないと、LEDチップの短寿命や火災の原因になります。

水平天井に取り付ける
器具は、水平な面に取り付けてください。壁に取り付けると、器具落下・感電・火災の原因になります。

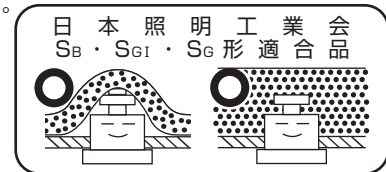
施工説明にしたがい確実に施工する
施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規定などの法令や規格にしたがって行ってください。正しく施工しないと、落下・感電・火災の原因になります。

器具質量に耐える場所に取り付ける
ロックウールなどのやわらかい造営面に取り付けしないでください。造営材の破損や器具の転倒・落下、火災や感電の原因になります。

適正温度で使用する
この器具は-5℃～35℃の範囲で使用してください。高温で使用すると短寿命・火災の原因になります。

点灯異常の際は電源を切る
異常を感じたときは速やかに電源を切ってください。そのまま使用すると、火災・落下によるけがの原因になります。

特殊な施工(断熱、防音など)天井に取り付けない
日本照明工業会、断熱施工用Sb形ダウンライト適合品です。ブローイング工法、マット敷き工法で施工された天井に使用できません。特殊な断熱構造などの天井に施工すると、火災の原因になります。



酸や塩素などの腐食性ガスの発生する場所、さびやすい場所には取り付けない
腐食や落下による重大なけがの原因になります。

可燃物を近づけない
器具を布や紙の可燃物で覆ったり、かぶせたり、燃えやすいものに近づけたりしないでください。また木製や樹脂製の家具などを近づけないようにしてください。近づけすぎると被照射物の変形・変色・火災の原因になります。

分解や改造はしない
器具の分解・改造・部品の追加・変更・塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災などの原因になります。

注意 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

軒下や雨が吹き込む場所に設置する際は接地(アース)工事を確実に施工する
「電気設備技術基準」にしたがって施工してください。正しく施工しないと感電の原因になります。

湿気が多い場所や浴室には取り付けない
防雨形の器具のため、常に湿気・水気のある場所には取り付けしないでください。湿気により絶縁不良となり、漏電や感電の原因になります。

設置及び保守作業の際は必ず電源を切る
通電した状態で設置工事を行うと、感電や器具破損の原因になります。

直射日光の当たる場所には取り付けない
直射日光の当たる場所には取り付けしないでください。腐食や落下の原因になります。

使用中・使用直後に触れない
点灯中や消灯直後は、器具が高温になっているため触れないでください。やけどの原因になります。

振動・衝撃を与えない
振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。落下や器具破損の原因になります。

器具の間引き点灯

●分岐回路を設けて、器具個別の回路スイッチで消灯してください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 **法人向けLED照明ホームページ** <http://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/>

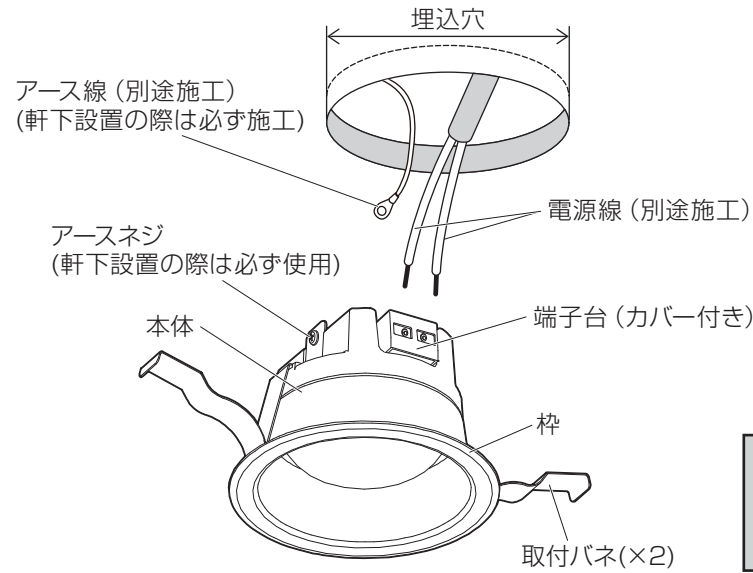
製品に関するお問い合わせは(通話料無料) **LED照明サポートコール 0800-111-5300** (受付時間) 平日9:00～17:00、土・日・祝日9:00～12:00 / 13:00～17:00 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは (通話料無料) **0800-111-9300** Webからのお問い合わせは (メールフォームにご記入のうえ送信してください) **https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/contact/**

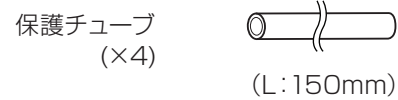
各部の名称

●部品が不足しているときは、お買上げの店または LED 照明サポートコールまでご連絡ください。

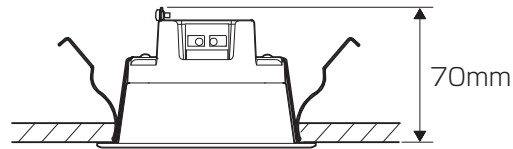
※図は一部を簡略化した図です。



■付属品



■埋込必要高 70mm



注意 器具が埋め込み内部の造管材やダクトなどの設備に、触れないように取り付けてください。他の設備に影響を及ぼす原因になります。

仕様

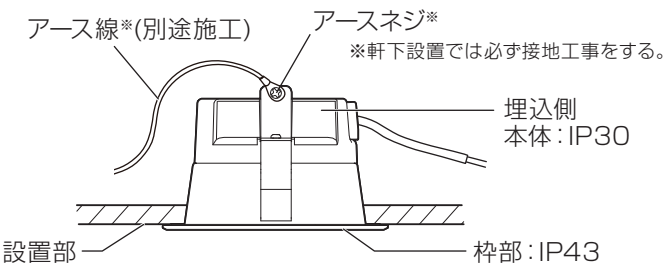
調光	品番	定格電圧 (V)	定格周波数 (Hz)	色温度 (K)	LEDモジュール設計寿命 (h)	主要材質	器具質量 (kg)
対応	LSB100-0627DCAW-V3	AC100	50/60	2700	40,000*	アルミニウム ポリカーボネート	約0.2
	LSB100-0635DCAW-V3			3500			
	LSB100-0650DCAW-V3			5000			
	LSB100-1027DCAW-V3			2700			
	LSB100-1050DCAW-V3			5000			

※LEDモジュール設計寿命は、LED が点灯しなくなるか定格光束が70%に低下するまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。製品の寿命を保証するものではありません。
※商品の仕様は予告無く変更することがあります。

屋内・軒下兼用 (防雨形)



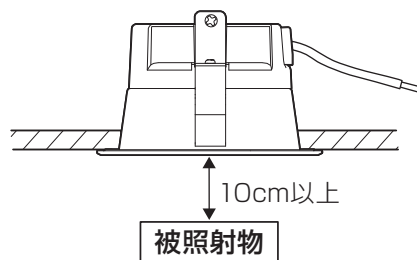
注意 埋込側は防水仕様ではありません。本体が結露したり水滴がかかったり、また埋込側周辺の湿度が高い場所では使用しないでください。漏電や感電の原因になります。



照射距離についての注意



警告 器具の直下10cm以内にドア、家具、建具を置いたり、可燃物を近づけないでください。被照射物の変形や変色、火災の原因になります。



調光時の注意

- LEDダウンライト単体では調光はできません。調光には位相制御方式の調光器が必要です。
- 調光時にちらつきが発生するときは、ちらつきが発生しない調光位置まで調光器を操作して使用してください。
- 電圧の変動によって、ちらつきや立ち消えが発生することがあります。電力消費量の多い家電(ドライヤー、掃除機、電子レンジなど)を使用すると電圧の変動が起こり、ちらつきや立ち消えが発生することがあります。
- 調光器の種類によっては、ちらつくことがあります。
- 調光器やランプから、わずかに音がすることがありますが、異常ではありません。
- 調光したときの明るさや電力の変化は白熱電球とは異なります。
- 調光器のつまみを絞って消灯させても電力は消費しています。長時間消灯する場合は、電源スイッチを切ることをおすすめします。
- 0%に近い明るさの状態でも電源を切り、電源を再投入したときは、点灯までに時間がかかったり、点灯しない場合があります。この場合は、いちど100%の明るさまで調節すると点灯します。
- 複数の調光器を使用した場合、互いに影響し合いちらつくことがあります。
- 複数のLEDダウンライトを1つの調光器で制御する場合は、個々の消灯、点灯のタイミングや明るさに違いが出ます。

取り付けかた

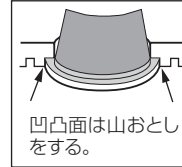
注意：安全のため手順通りに正しく取り付けてください。

1

設置前の確認

器具の重さに耐えられるように、設置部の強度を確認してください。壁面やロックウールなどのやわらかい面には取り付けしないでください。

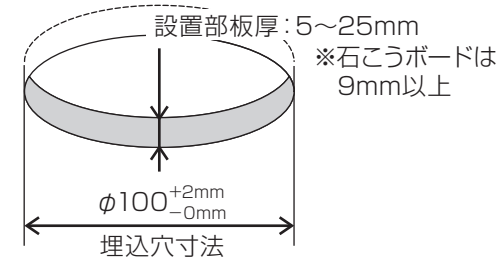
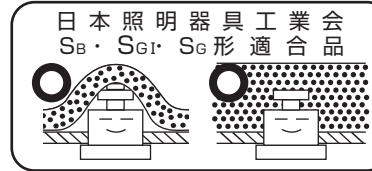
- 設置面に1mm以上凹凸がある場合は、山おとし加工をして平面を形成してください。そのまま取り付けたら、光もれ・気密性の低下の原因になります。



2

設置部に埋込穴をあける

特殊な施工 (断熱、防音等) 天井に取り付けない
日本照明工業会、断熱施工用 S_B 形ダウンライト適合品です。フローリング工法、マット敷き工法で施工された天井に使用できます。特殊な断熱構造などの天井に施工すると、火災の原因になります。



注意 設置部の板厚強度が不足すると落下の原因になります。また埋込穴寸法が大きすぎると、器具の落下や光漏れの原因になるので、ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

3

安全確保のために電源を遮断する



警告 電源を切らないで作業すると、感電の原因になります。

4

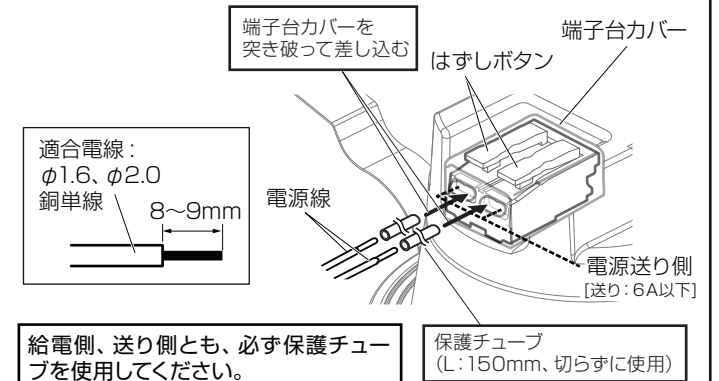
電源線・アース線 (軒下施工) を接続する

- 電源線の被覆をむき、付属保護チューブ (L:150mm) 2本を切断せずに装着してから、端子台カバー上から確実に差し込んでください。
- 電源送り側は照明器具専用とし、付属の保護チューブを必ず装着して接続してください。(送り: 6A以下)



警告 ●電源の接続は確実に行う
接続が不完全な場合や電源線が抜けて器具に接触したりすると、火災・感電の原因になります。
●軒下に設置するときは、必ずアースを接続する
必ずD種 (第三種) 接地工事を行ってください。正しく設置しないと感電の原因になります。

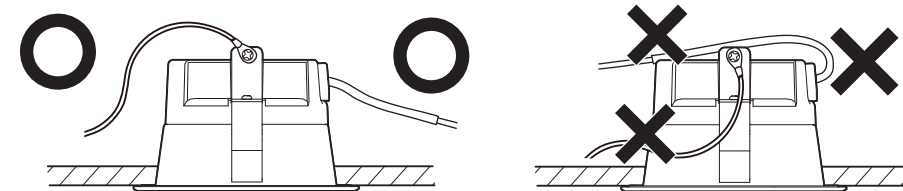
- 電源線を外すときは、はずしボタンを押したまま電線を引き抜いてください。



5

電線の取り回しを確認する

電源線・アース線は、器具本体に接触させたり、無理に折り曲げないでください。感電や火災の原因になります。

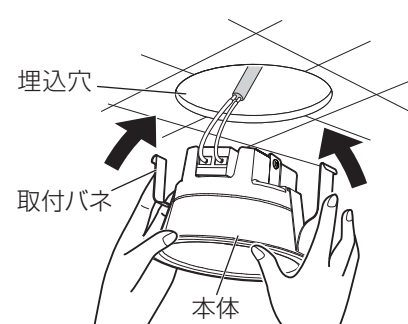


注意 設置したときに、電線が本体に接触しないように、あらかじめ位置関係をよく確認してください。

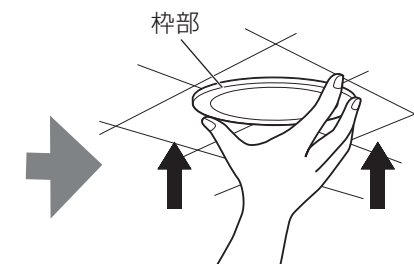
6

本体を取り付ける

取付バネを内側に押さえながら、埋込穴を破損しないように本体を挿入し、ゆっくり枠部を押し上げてください。



注意 本体は確実に取り付けてください。取り付けが正しくないと落下の原因になります。



※本体を取り外す場合
本体を取り外す際は枠部をゆっくり引き下げ、2本の取付バネを内側に押さえながら取り外してください。無理に引き抜くと埋込穴が破損することがあります。